強者の戦略

日本史の岡上です。今年も残すところあと１ヶ月。2016 年は本当に激動の年だったと思います。政治的にはイギリスのＥＵ離脱に始まり、アメリカの大統領選挙におけるトランプ氏勝利。芸能でもＳＭＡＰ解散。何だか今までの枠組みが失われて、新たな世界が始まる転換点をみているようです。大河ドラマでは「真田丸」が佳境を迎えていますが、歴史の枠組みを取っ払って「今回の真田は勝つ」という噂も出ているようで･･･苦笑。

さて、第 30 回となる今回は 2016 年の東大日本史の第３問を取り上げてお話をしていきたいと思います。「真田丸」とも関連する関ヶ原～大坂の役の理解が問われる問題です。さぁ、１週間、しっかり問題を考えてみてください。

【2016 年度　東京大学　文科前期　第３問】

次の(1)～(4)の文章を読んで，下記の設問Ａ・Ｂに答えなさい。

(1)　1609 年，徳川家康は，大坂以西の有力な大名から五百石積み以上の大船をすべて没収し，その所持を禁止した。想定されていたのは，国内での戦争やそのための輸送に用いる和船であり，外洋を航海する船ではなかった。

(2)　この大船禁止令は，徳川家光の時の武家諸法度に加えられ，その後，原則として継承された。

(3)　1853 年，ペリー来航の直後，幕府は，全国の海防のために，外洋航海が可能な洋式軍艦の建造を推進することとし，大船禁止令の改定に着手した。

(4)　その改定の担当者は，「寛永年中」の大船禁止令を，当時の対外政策にもとづいた家光の「御深慮」だったと考え，大船を解禁すると，大名が「外国へ罷（まか）り越（こ）し，又海上の互市等」を行うのではないかと危惧した。

設　問

Ａ　徳川家康が大船禁止令を出した理由を，当時の政治情勢をふまえて，２行以内で述べなさい。

Ｂ　幕末には，大船禁止令の理解のしかたが当初と比べ，どのように変化しているか。３行以内で述べなさい。